

日本電気本社ビル

建物諸元(2026年1月現在)

所在	港区芝5-7-1
主用途	事務所テナントビル
敷地面積	21,283㎡
延床面積	145,166㎡
階数	地上43階 地下4階
竣工年月	1990年1月
事業者・所有者	野村不動産マスターファンド投資法人 日本電気株式会社
設計会社	株式会社日建設計
施工会社	鹿島建設株式会社・株式会社大林組
管理会社	NECファシリティーズ株式会社
テナント数	特定テナント1社

主な評価項目

- I 一般管理事項**
 - ・事業者、特定テナント、運営者、技術管理者の四位一体によるCO2削減推進体制を構築し、温暖化対策推進会議において温暖化対策を推進している。
- II 建物、設備性能に関する事項**
 - ・省エネルギー効果の高い熱源設備・照明器具の高効率化への更新、昼光利用による照度制御等を順次導入し、継続的にCO2削減対策を積極的に実施
- III 運用に関する事項**
 - ・BEMSからのエネルギー及び各機器運転データを季節・時間別にきめ細かく分析、その結果から保守・運用管理の見直しによる効果を検証しCO2削減を図っている。
- IV 事業所の再生可能エネルギーの利用に関する事項**
 - ・事業場の余剰電力を電力会社の送配電ネットワークを利用し日本電気本社ビルへの自己託送を実施
- V 事業所のゼロエミッション化や環境配慮等の取組に関する事項**
 - ・非化石証書の購入と自己託送により電力は実質再エネ100%達成

事業所の概要

当ビルは東京都環境アセスメントの適用第1号(1985年)であることから周辺環境との調和をキーワードに設計され、環境を考慮した視点から省資源・省エネルギー対策を積極的に建物の機能に種々盛り込んだ仕様となっている。

【事例】

- ① 日射負荷を断つダブルスキンの窓
- ② 搬送動力を抑える分散型空調システム
- ③ 自然エネルギーを利用した外気冷房システム
- ④ 夜間蓄熱システム
- ⑤ 超節水型便器の採用
- ⑥ 設備保全やエネルギー管理を支援するBEMS等

また竣工後35年を越え、更なる省エネに配慮した設備への更新・改修を実施

- ① 電気設備:LED照明器具への更新
- ② 空調設備:高効率モーターを利用した空調機へ更新

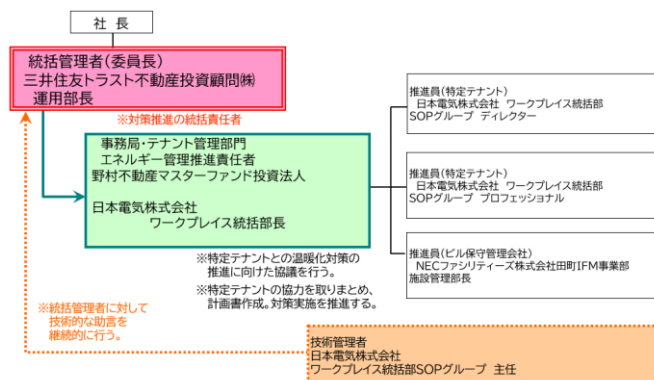
上記以外の機器も順次更新の検討、改修を継続している。さらに建物運用管理についても、更新した熱源機器・照明器具(昼光利用制御)に対してはコミッションング(性能検証)を実施、既存設備との相関を検証し効率的な設備運用改善を継続的に提案・実行しCO2削減を図っている。

NECは、遠隔地で発電した電力を電力会社の送配電ネットワークを利用して送電する自己託送により、NEC我孫子事業場(千葉県我孫子市)に設置する太陽光発電設備にて発電した余剰電力を日本電気本社ビル(東京都港区)への送電を行うことで、再生可能エネルギーの有効活用を実現している。



日本電気本社ビル

地球温暖化対策の推進体制



我孫子事業場 太陽光発電